

コラボ!

第25号

2015.4

真岡市市民活動推進センター コラボ〜もおか 【運営団体】特定非営利活動法人ま・わ・た

特集

田中正造に学ぶ

11/30日

市民活動とは



平成26年11月30日、二宮コミュニティセンターにおいて真岡市市民活動推進センター主催で「田中正造に学ぶ市民活動」と題した講演会を開催しました。

講師には、長年、田中正造に関する研究をされている赤上剛さんをお招きしました。

赤上さんは茂木町に生まれ、真岡高校を卒業、現在「渡良瀬川研究会」副会長と、「田中正造に学ぶ会東京」の副代表を務め、著書「田中正造とその周辺」では田中正造の知られざる姿を記しています。

今回は、そんな赤上さんの研究から見てきた田中正造の姿とその思いについて語っていただき、改めて現代の市民活動を考えていこうと開催しました。

田中正造没後101年経った今ですが、彼の生きた時代の鉱毒で苦しむ農民と、東日本大震

災後の福島原発に怯える国民の姿は、どこか重なりあって見えます。過去に田中正造の行ってきた活動を振り返り、過去と現在を結びつけ、市民ひとりひとりが考え、意見を出し、議論するという力を身に付けることで、市民活動の推進につながるのではないのでしょうか。

正造は真岡に馴染み深い二宮尊徳から影響を受けたと思われる「真理は芋を洗う如し」という言葉を使っていたとのこと。この言葉の意味するところは、「議論を繰り返すと、なにが正しいのかが見えてくる。ぶつかりあうことによって綺麗になっていく。」ということだそうです。

最後に、「田中正造は普通の人であり、普通の人々が現実の問題にぶつかって成長していったという話ナだけ」と、参加者に自分自身を振り返る課題を投げかけて講演会は終了しました。

この講演会に参加したことで、参加者が行動に移すなにかしらのきっかけを少しでも得られたらと思います。(34名)

(特定非営利活動法人ま・わ・た 亀田 孝義)



講演を熱心に聴く参加者



講師 赤上剛氏



祝!5万人達成!!

平成27年2月5日(木)に当センターの来所者が5万人を達成しました!

記念すべき5万人目は、日頃ミーティングルームを利用し活動している「公益社団法人日本3B体操協会栃木県支部」の梅澤昌恵さんです。梅澤さんには、記念品を贈呈し、コメントをいただきました。

梅澤さん「いつも親切にさせていただいてありがとうございます。今回はラッキーでした!これからも利用させていただきます。よろしくをお願いします。」

平成20年1月に開所して以来、7年間で5万人もの方に利用していただけたことをスタッフ一同、とても嬉しく思っています。

今後も多くの方々にご利用していただけるよう、より一層努力してまいります。引き続き「コラボレもおか」をご愛顧くださいますよう、よろしくをお願いします。



活動報告

第34回こらぼ茶話 「冬を彩るハンギングバスケット」

12/2 火

ハンギングバスケットをご存知ですか?草花を立体的に寄せ植えした空中花壇のことです。今回は、二宮コミュニティセンターの建物の外でそんな素敵ハンギングバスケットを「花人・真綿」の皆さんから教えていただきました。

根を少しだけほぐした花の苗を専用の鉢(側面にスリットの入った鉢に付属のスポンジを貼り付けたもの)に下から順に植えて行きます。きれいに仕上げるポイントは「メインとなる花を中心にそれぞれの花の表情を見ながら植える」ということで、参加者の皆さんも花と向き合って良い角度を決めながら植えていきました。先生達の教え方と皆さんのセンスの良さが相まってとても美しく仕上がりました。

強風の中、外での講座でしたが、参加者からは「寒かったけど」心は温かくなりました。「楽しかったです」という感想をいただきました。また、長く持つということで自宅でも楽しめる講座となりました。(参加者17名)



こらぼ～年会

12/20 土

コラボレもおか利用者協議会の皆さんが中心となり、「こらぼ～年会」が開催されました。

当センターを利用する団体・個人の皆さんが親交を深めるため、年末の恒例行事となりつつあり、今年度は田町地区の地域公民館にて、みんなで鍋料理などを作りながら楽しみました。

テーブルの上には丹精込めて作られた寄せ鍋やサラダ、おでん、デザートなどがとろろ狭しと並べられ、ステージではさし音頭やサクソとギターの演奏が披露されました。

今回、特に盛り上がったのは、ビンゴと同時に行ったドキドキ企画です。これは受付時に名前と番号入りの名札シールを配り、ビンゴに紛れ込んだその番号を呼ばれた人は、カラオケか自己紹介を披露するというものです。番号にあたった人は、皆さん自己紹介を選び、会場からの「今だから言える恥ずかしかった失敗談は?」などの質問にも答えていました。

ふだん聞けないような話で盛り上がりながら、楽しい年末の夜を過ごすことが出来ました。(参加者41名)



第35回こらぼ茶話 「暮らし楽しむ川柳教室」

1/23 金

二宮コミュニティセンターにて、登録団体「川柳綿の花吟社」の川嶋尚躬さんを講師に迎え、川柳作りの基礎を教わりました。

リズム感を大切に、日常思っていることを、五、七、五の17文字で表現するのが基本だそうです。今回の題目はこらぼ茶話にちなんで「茶」と「話」に決定。参加者全員で川柳づくりに挑戦し、先生が部屋を回りながら、ひとりひとり親切丁寧な創作上の留意点を教えてくださいました。出来上がった句を板書し、みんなでお気に入りの句に投票しました。

よい句を作る秘訣は、誰が読んでも聞いても明解かつなるほどと唸らせるような作りで、一人よがりの句にならないようにするとよいそうです。また、上達するには、川柳コラム欄などで入選しているよい句に多く触れ、感性の目をこやすとおっしゃっていました。

最初から良い句を作ろうとせず、頭の体操ぐらいの軽い気持ちで試していけば長続きし、上達していくのではないかと思います。皆さんも気軽に一句いかがでしょうか?(参加者9名)



登録団体紹介

■ コラボうさぎの会

代 表：深野 志おり

「耳の聞こえない人が集まり、気軽に話せるアットホームな場を!」という思いの中、2009年に会を立ち上げました。代表は20代のろう者ですが、難聴者や中途失聴者のほか健聴者も増え、年齢層も20代から80代と幅広く、家族のような雰囲気です。

活動では、手話や口話、筆談等、様々なコミュニケーション方法で自由に語り合う事を重視しています。耳が不自由な事から、家庭や仕事でもスムーズに意思疎通ができなくストレスを感じる事が多い現実。こうしてコミュニケーションをとることで大切な事に気づき、理解も深まると確信しています。また、健聴者と聴覚障がい者のカルチャーショックも受けるでしょう!

毎月第2日曜日の午後1時から3時まで二宮コミュニティセンターで活動しています。理解と共生の輪を広げていく為にも、一緒に楽しく活動してみませんか?



■ 公益社団法人栃木県断酒ホトギス会南部断酒会

代 表：猪瀬 幸二

私たちは公益社団法人栃木県断酒ホトギス会の南部地域の組織として、小山・益子・真岡地区を中心に活動しています。

栃木県断酒ホトギス会は、お酒で悩んでいた、巻き込まれたりとお酒に悩む人たちがあつまった自助組織です。県の健康福祉センターと共同で市民公開セミナーなども開催しています。

南部断酒会でも毎月例会を行っています。真岡支部では真岡公民館で毎週土曜日の午後7時から9時まで集まっています。また、南部の全地区が集まり、野外活動例会なども行っています。平成26年はバーベキューを行い、近況報告に花を咲かせました。

もしお酒でお困りの方、あるいはそんな方が近くにいたらどうぞご相談下さい。気持ちを共有できる仲間と共に活動してみませんか?



■ コラット・パル

代 表：石田 昌義

私たちコラット・パルは、毎月の第1・第3火曜日の19時から真岡市公民館で英語教室を開催しています。

ジル・エレン・シルバンさんを講師に迎え、気軽に集まれるサロン形式で開催しています。そのため、会員名簿や出欠などの確認はなく、誰でも自由に参加することが出来ます。

ただし、基本的に会話の中で日本語は使いませんので、上級者向けの英語教室となっています。英会話をさらに上達させたい、英語での会話を楽しみたいという方におすすめです。

参加の際には、各回200円の参加費を頂き、お茶菓子などを用意しています。興味のある方は、開催日に直接来て参加してみてください。



新規登録 (1月現在)

団体名	活動内容
とちぎ暮らしネットワーク	東日本大震災及び原発事故により避難している人達の孤立予防のため、避難生活を快適に、楽しみを持って過ごせるための支援(エコクラフト手芸、健康や心の相談等)を行う。
栃木県立真岡工業高等学校 ボランティア部	地域社会に対して自分たちのできることで貢献する。(真岡駅舎清掃、真岡井頭マラソンボランティア、益子特別支援学校イベント時のお手伝い等。)
真岡絵手紙教室(オリーブ会、ひまわり会、コスモス会、さくら会、あすなろ会、あじさい会、カトレア会、すみれ会、シクラメンの会)	絵手紙の制作。



第4回：「寄付する」ということ

2011年の東日本大震災では、日本人の76.9%がなんらかの「寄付」をした⁽¹⁾とされています。それは、被災者・被災地に関する報道を見聞きしたり、友人や知人のおかれた現状を知った人たちが「何とかしたい」と感じた結果だと思えます。

震災のほかにも、現在の日本社会には貧困や高齢化、環境破壊、コミュニティの崩壊などさまざまな社会課題があり、それらの解決を目指して活動する多くの市民活動団体が存在しています。社会課題に触れ、活動を知ることによって生まれた「何とかしたい」気持ちと「共感」を形にする方法の一つとして「寄付」があります。

“市民活動に興味があるけど、時間が取れなくて…”そんなとき、寄付は気軽にできるだけでなく社会を変えていける仕組みなのです。

そんな寄付ですが、その方法は実に多彩です。皆さんも寄付したであろう「街頭募金」や、商品の売り上げが寄付につながる「寄付つき商品」、インターネットを利用した「クラウドファンディング⁽²⁾」など様々です。

コラボレもおかでは、これらの寄付を通じて皆さんと活動や団体をつなぐお手伝いをしております。無理なく思いを伝える方法として、改めて寄付をしてみませんか？

- (1)参考文献：日本ファンドレイジング協会（2012）『寄付白書2012』経団連出版。
- (2)クラウドファンディングとは、群衆（crowd）と資金調達（funding）を組み合わせた造語。インターネットを経由して不特定多数の人々から寄付を募る仕組みのこと。



真岡市市民活動推進センター コラボレもおか

〒321-4507
栃木県真岡市石島893-15 真岡市二宮コミュニティセンター2F
TEL:0285-81-5522
FAX:0285-81-5558
E-mail:collabo@trad.ocn.ne.jp
URL:http://www.collabo-moka.net/
【開館時間】火～金:9:00～21:00
 土・日:9:00～18:00
【休館日】毎週月曜日・祝日
 ・年末年始(12/29～1/3)
 ※その他イベント・施設管理の関係で臨時に休館になる場合があります。



◀コラボレもおか
イメージキャラクター
コラちゃん(左)と
ボレくん(右)

ギャラリー ステップQ



「サンマルコ寺院」(宮田圭三さん)